

(別紙1)

管理運営状況 評価シート【平成30年度】

(評価日 令和元年6月26日)

1 施設の概要

施設名	岩手県立水産科学館
所在地 電話・FAX HP・電子メール	宮古市日立浜町32番地28 TEL 0193-63-5353 FAX 0193-64-4855 http://www.city.miyako.iwate.jp/suisan/suisan_kagakukan.html
設置根拠	水産科学館条例
設置目的	(設置:昭和61年4月18日) 水産資源、水産技術等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、県民の水産についての知識の普及及び教養の向上を図る。
施設概要	敷地面積、建物面積、主な施設、利用定員等 敷地面積 5,671m ² 建物面積 1,535m ² (常設展示室 600m ² 、特別展示室 100m ² 、集会室 70m ² 、エントランスホール 135m ² 等)
施設所管課	岩手県農林水産部水産振興課 (電話 019-629-5817 メールアドレス AF0013@pref.iwate.jp)

2 指定管理者

指定管理者名	宮古市
指定期間	平成30年4月1日～令和4年3月31日(5年間)
連絡先	宮古市産業振興部水産課 TEL 0193-62-2111

3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	管理運営及び企画全般、資料の収集、保管、展示、入館料収納事務、宣伝、広報等		
職員配置、管理体制	8名 (平成31年3月31日現在) (内訳)正職員3名、非常勤職員2名、 臨時職員3名	組織図 館長(非常勤) 一係長一主査一主任一資料・水槽管理3名(非常勤 1名・臨時職員2名)一事務補助1名(臨時職員)	
利用料金	一般300円(※団体1人につき140円)、大学生・専門学校生等140円(※団体1人につき70円)、高校生以下無料 ※20人以上での来館は団体料金		
開館時間	9時から16時30分まで ※通常の開館時間外の入館希望者が あった場合は、随時対応	休館日	月曜日(祝日と重なる場合は一番近い平日) 年末年始(12月28日から1月4日まで)

4 施設の利用状況

(単位:人)

(利用者数、稼働率等)	前期間 平均	指定管理期間				備考
		30年度	31年度	32年度	期間平均	
第1四半期	2,690	2,620				
第2四半期	6,509	6,124				
第3四半期	1,518	1,435				
第4四半期	1,453	1,382				
年間計(実績)	12,170	11,561				
年間計(計画)		14,974			H24 入館者数	

5 収支の状況

(単位：千円)

区 分	前期間 平 均	指定管理期間				備考
		30年度	31年度	32年度	期間平均	
収 入	指定管理料	30,864	31,164			
	入館料等	1,811	1,747			
	小計	32,675	32,911			
支 出	報酬	4,031	4,646			
	給料	7,944	8,120			
	職員手当等	3,375	3,637			
	共済費等	6,373	7,974			
	需用費	10,044	9,402			
	役務費	799	654			
	委託料	7,222	8,187			
	賃借料	880	1,014			
小計	40,668	43,634				
収支差額	-7,993	-10,723				

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	入退館時の聞き取り、イベント時のアンケート	実施 主体	県立水産科学館
------	-----------------------	----------	---------

(2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 件、要望 件、その他 件
主な苦情、要望等	対応状況
①夏期の冷房が強すぎて、館内の室温が低すぎる。	室温を低く保っているのは、「磯の生物展」で使用する小型水槽の水温調整のため。この小型水槽にはクーラーが付いておらず、気温に連動して水温が変化するので、水温を低く保つために、室温を低くしている。その旨を張り紙で掲示し、入館者からの申出があった場合は、口頭でも説明している。
②	
③	
<p>その他利用者からの積極的な評価等</p> <p>エントランスに水槽を設置し、宮古近海に生息するものを中心とした生きた魚介類を展示しており、入館者に好評である。</p> <p>入館者が館内で写真やビデオ撮影をすることについては規制せず、自由に撮影してもらっており、入館者に喜ばれている。</p> <p>休憩スペースには、魚介類をデザインしたスタンプやパズル・クイズなどを用意し、特に子供や親子連れの入館者に好評である。</p>	

7 業務点検・評価 (※)

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運営業務	仕様書及び関係法令に基づき次の業務を完全に履行すること。 【業務区分】 管理運営業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経理事務 ・ 物品の整理、保管 ・ 設備の操作 ・ 資料の収集、保管、展示 ・ 資料の調査、研究 ・ 報告書の刊行 ・ 入館者の案内、解説 ・ 宣伝、広報 【業務区分】 入館料収納事務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務全般について、全職員の情報共有に努め、適正に業務を履行した。 ・ 現金の取り扱い等、経理事務について適正に履行し、現金の過不足等は生じなかった。 ・ 物品の整理、保管について、適正に行った。 ・ 館内設備の操作については、細心の注意を払って行った。 ・ 資料の収集・保管・展示について、適正に行った。 ・ 施設の紹介やイベントのPRについて、市公式ホームページやフェイスブックへの掲載、各学校への利用案内、市内外各所へのポスター掲示依頼、案内看板の設置、報道機関への情報提供などを行い周知に努めた。 	A
施設の利用状況	平成 24 年度入館の利用者数（14,974 人）を達成すること。	平成 30 年度の利用者数は、11,561 人で、目標達成には至らず、前年度実績と比べても約 95%ほどだった。例年に比べ、8 月の利用者数が少なかったことが主な原因だが、その理由として、夏場に晴天の日が多かったことが挙げられる。（好天の日は利用者数が伸びない傾向）利用者数の増加に向けて、今後一層の努力・工夫に努める。	B
事業の実施状況	利用者ニーズに合った展覧会、研修会、講習会等を実施すること。	開催した企画展・イベント <ul style="list-style-type: none"> ・ 収集資料展 1,510 人 (4/28～5/27・開館日 26 日) ・ 磯の生物展 4,479 人 (7/13～8/19・開館日 35 日) ・ お魚のお世話をしてみよう 19 人 (7/28、7/31、8/4、8/7) ・ 新巻鮭体験 67 人 (11/24、11/30、12/1、12/4、12/7、12/11、12/14) ・ 鮭革細工教室(1/14) 18 人 ・ わかめの学習&試食会(2/10) 70 人 ・ カラー魚拓講習会(2/24) 22 人 	A
施設の維持管理状況	仕様書及び関係法令に基づき次の業務を完全に履行すること。 【業務区分】 管理運営業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ 財産の維持管理 ・ 施設の防火管理、訓練 ・ 施設の警備 【業務区分】 清掃業務 【業務区分】 施設保守業務 【業務区分】 警備業務 【業務区分】 植栽管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適正で効率的な施設の維持管理に努めた。 ・ 館内巡回は日に数回行い、設備の稼働状況等を確認した。 ・ 職員の防火意識の向上に努め、火気の取扱いには、細心の注意を払った。 ・ 自衛消防訓練を、図上と実働各一回行った。 ・ 警備業務等専門的な業務については、業者へ委託して行った。 	A

記録等の整理・保管	各種管理記録簿等を整備、保管し、県の要請に応じて遅滞なく提示すること。	・各種記録簿について、適切に整備・保管を行った。	A
自主事業、提案内容の実施状況	—	—	—
(施設所管課評価) ・成果のあった点 入館者数は減少傾向にあるが、報道機関や教育関係施設等への周知、PR活動を積極的に行い、高齢者や地域に向けたPRにも努めた。要望があれば出前学習（体験学習）にも対応、アンケート結果を事業に反映させるなど、利用者サービスの向上に努めた点などが評価される。 ・改善を要する点 特になし。			A

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	各業務に適した者を適正に配置すること。	・各業務について、それに適した職員を配置した。	A
苦情、要望対応体制	苦情、要望に対する対応を適切に行ない、職員間で情報共有を行うこと。	・苦情や要望等の情報は、職員間で共有、対応について協議し、可能な限り迅速に対応した。なお、対応できない事例は無かった。	A
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	・災害時、緊急時における訓練を実施すること。 ・仕様書第11に定める対応（入館者に事故が発生した場合の応急手当等）を行うこと。	・自衛消防訓練を実施し、火災を想定した避難誘導、消火活動の訓練を行った。 ・AEDの取扱方法については、年に一度、消防署員を講師に救急救命講習を行って確認している。 ・非常灯や誘導灯について、館内巡回において不備がないか確認しており、不備が発見された場合は、迅速に修繕を行っている。	A
コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	・職員の法令遵守の意識を啓発する取組を行うこと。 ・個人情報の保護等を定めた基本協定第6章を遵守すること。	・法令順守について、各職員に周知徹底した。 ・宮古市の個人情報取扱手引書に基づく取扱いとし、その取扱いについては最新の注意を払った。必要以上の個人情報は収集せず、個人情報が記載された書類の取扱いには十分留意し、廃棄は確実に行った。	A
県、関係機関等との連携体制	・県に適宜連絡を行ない、円滑な運営を行うこと。 ・緊急時の連絡体制を構築すること。	・県と適宜連絡を取り合い、円滑な運営に努めた。 ・非常招集系統図を作成し、宮古市水産課との間でも、非常時の連絡体制を構築している。	A
(施設所管課評価) ・成果のあった点…職員間で情報共有を図るなど、適正な体制のもと運営していると認められる。 ・改善を要する点…特になし。			A

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運営業務	職員の接遇向上を図ること。	・気づいた点などを全体で話し合い、指導するなどし、接遇向上に努めた。	A

利用者サービス	利用者のニーズにあったサービス提供を行うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・開館及び閉館時間については柔軟に運用し、その前後に入館希望者があった場合は、基本的に受け入れて対応した。 ・入館者の多い8月前半には、通常は休館日である月曜日も臨時開館とし、入館者の利便性向上に努めた。 	A
利用者アンケート等	<ul style="list-style-type: none"> ・正確なニーズ把握の方法を検討し、実施すること。 ・ニーズ把握の結果を分析すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて最も入館者数の多い「磯の生物展」の期間中に、入館者アンケートを実施し、ニーズの把握に努めた。 ・入館者からの要望があった場合、実施可能であるか職員間で検討を行った。その結果、平成30年度は常設の水槽一基を、入館者に好評であった「混合水槽」に変更している。 	A
(施設所管課評価) <ul style="list-style-type: none"> ・成果のあった点 利用者ニーズに合わせて、柔軟に開閉館時間の変更や臨時開館を行っているほか、集客力のあるイベント（磯の生物展）時に利用者アンケートを実施、その結果を検討して事業に反映させるなど、ニーズの把握や分析に努めている。 ・改善を要する点 特になし。 			A

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	管理運営計画と収支実績が乖離していないこと。	ほぼ計画通りの実績だった。	B
指定管理者の経営状況	—	—	—
(施設所管課評価) <ul style="list-style-type: none"> ・成果のあった点 概ね計画通りの実績と認められ、適切な管理が行われている。積極的かつ継続的にイベントを実施し、入館者に安定したサービスを提供しているが、入館者数が目標達成に届かなかったことから、今後さらに新しい取組を企画、検討していく必要がある。 ・改善を要する点 特になし。 			B

※（注1）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」

指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注2）評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

<p>① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項</p> <p>年間を通じて、適正で効率的な管理運営に努め、入館者の増加につなげるべく、企画展やイベントを開催した。4月28日から5月27日まで「収集資料展」を開催した。普段は収蔵庫に所蔵して公開していない資料であり、あまり目にする機会のない品々の展示であることから来館者から好評を得た。</p> <p>また、当館の代表的なイベント「磯の生物展」については、「第31回磯の生物展」を、7月13日から8月19日までの期間で開催した。</p> <p>例年好評を得ている「新巻鮭体験」、「鮭革細工教室」、「宮古のわかめは日本一！わかめの学習&試食会」、「カラー魚拓講習会」については今年も実施し、多くの参加者を集めることができた。</p> <p>今後も参加者に好評のイベントは継続実施しながら、通年の集客、入館者の増加につながる取組を行っていききたい。</p>
<p>② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項</p> <p>本年度の入館者数が前年度実績を下回っており、入館者の増加に向けた更なる取組が必要と考えられる。</p> <p>冬季（閑散期）の入館者の増加は以前からの課題であり、新たなイベントを企画するなど取り組んできたところだが、年間を通じた集客、入館者の増加に向けた、企画展やイベント・館のPRなどの検討を続けていきたい。</p>
<p>③ 県に対する要望、意見等</p> <p>開館から30年以上が経過し、館の設備に経年劣化が否めない箇所も少なくない。</p> <p>修繕工事については、県と協議の上、順次対応しているところであるが、館の運営に支障をきたすことのないよう、配慮いただきたい。</p> <p>また、常設展示室の展示内容が、開館以来大きく変化しておらず、その模様替えについても検討いただきたい。</p>

(2) 県による評価等

<p>① 指定管理者の運営状況について</p> <p>天候や道路工事等の影響もあり、入館者数は前年度実績に届かなかったものの、企画展やイベントについて報道機関や教育関係施設等に積極的に周知し、併せて高齢者や地域に向けたPRにも努めている。要望があれば出前学習（体験学習）にも対応し、アンケート結果を事業に反映させるなど、集客に向けた積極的な取組や利用者サービスの向上に努めている点を評価する。</p> <p>また、長年にわたり、地元の漁業関係者等と良好な関係を築き、活魚や珍魚、漁具等の貴重な資料を無償提供してもらうなど、資料の収集にも積極的に取り組んでおり、総合的に高いレベルで、施設の管理運営が行われていると認められる。</p>
<p>② 県の対応状況について（自己評価）</p> <p>施設の状況等について、随時連絡を取り合い、必要に応じて現地確認を行った。</p> <p>施設の修繕については、計画的な実施に努め、工事にあたっては運営に影響の無いよう、指定管理者と連携を密にして実施した。</p>
<p>③ 次期指定管理者選定時における検討課題等</p> <p>施設竣工から30年以上が経過したことから、今後も計画的な維持修繕を実施して施設の管理運営を行う必要がある。</p> <p>また、常設展示室の内容も開館当初から変わっておらず古くなっていることから、利用者サービスの維持・向上に向け、計画的な模様替え等についても検討が必要である。</p>

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）
改善状況
（指定管理者から県への報告年月日： 年 月 日）
改善状況の確認
（再評価年月日 年 月 日）